

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成 29 年 11 月 30 日 NO.20 (149)

12月4日(月)の『先生たちの音楽会』近づく！

子供たち一人一人が輝き、どの学年も大成功で終えた学芸会より早いもので3週間。心豊かに確実な成長の軌跡を刻みながら、子供たちは今、それぞれの学年・学級で学期末の学習に一生懸命に取り組んでいます。

さて、子供たちへの学芸会の大活躍の【ごほうび】として約束した『先生たちの音楽会』がいよいよ近づきました。ギターマンとスパイダーマンのアナウンスどおりに、12月4日(月)の全校朝会時(8時25分開始)に実施いたします。ご入場は体育館南側よりお願いいたします。寒いので上履きをご持参ください。先生たちは、お仕事のあい間を見つけては、最高の音楽を聞かせようと、たくさん練習してきて準備万端です。たくさんの皆様のご来校をお待ちしております。なお、音楽会の曲の紹介と各パートは以下の通りです。乞うご期待！

1：曲紹介

ミュージカルの“HAIR”で歌われた「Aquarius」と「Let The Sunshine In」の2曲をメドレーにして、フィフス・ディメンションというグループが1969年にヒットさせた曲です。それを大平先生が作詞・編曲をしました。

2：パート担当等

全体総指揮・プロデュース：笹河 作詞・編曲・ピアノ・全体指導：大平
バスマスター：中村 ハモンドオルガン：皆川 トランペット：利根川
ギター：押見・櫻木 タンブリン：笹河 メインボーカル・シャウト：土方
メイン女性ボーカル：1番四本 2番砂川
女性コーラス：田中・伊東・成井・鈴木・久朗津・北原
男性コーラス：森田・須藤・久保田・十塚・高野・浅見・相澤・古田・梶原

学芸会のごほうび！第2弾。バルーンアートをプレゼント！

学芸会の【ごほうび】として、現在進行形で取り組んでいるものがあるので、ご紹介いたします。それは、子供たちへのペンシルバルーンでのバルーンアートの贈呈です。このバルーンというのは、事務室倉庫の奥深くに長らく眠っていたもので、かなり前のもののようです。いつだれが何のために購入したかは不明ですが、たくさんのバルーンと共に空気入れまで存在しました。このまま事務室の肥しにしてももったいないと思っていたところ、本校職員の中にバルーンアートの達人がいることが分かりました。その人とは、学校事務室の職員、梶原さんです。梶原さんは、以前にも他校で何度もバルーンアートで様々なものを作っては、子供たちを喜ばせてきたとの事でした。早速、私も弟子入りしてその作り方を伝授してもらいました。そして、犬、キリン、ネズミ、剣、花、リースなどが作れるようになりました。

現在、1年生から順番に、子供たちの希望の物を作っては贈呈しています。4年生以上の子供たちには、実際に作り方を教え自分で作成させようと考えています。1本のペンシルバルーンがあつという間に様々な形にと変化する面白さを存分に味わってほしいと思います。また、ふだんあまりお話ししたり、接したりできない事務主事の梶原さんとも、いろいろとおしゃべりの機会がもてることも楽しいことでしょう。

